

新名神高速 高槻～川西間 12月10日15時開通

**ICの名称も決定
川西～神戸は来年春**

新名神高速道路の高槻ジャンクション(JCT)～川西インターチェンジ(IC)間が12月10日に開通することが発表された。各JCT・ICの名称も決定し、高槻JCT・IC、茨木千提寺(いばらきせんたいじ)IC、箕面とどろみIC、川西ICとなった。

新名神高速道路は、名古屋市から神戸市を結ぶ約174kmの高速道路。今回の開通により、大阪北部や川西地域から周辺高速道路へのアクセスが向上するとともに、移動時間が短縮する。例えば、兵庫県の猪名川町から京都駅までは約25分短縮し、約49分で到着する。また、新名神(高槻～神戸)の開通により、現在、名神高速道路や中国自動車道に集中している交通が分散し、多発している交通渋滞の緩和

が期待できる。さらに、名神や中国道に大規模災害が発生した際には、物資や人材を輸送する代替路としての機能を發揮する。川西IC～神戸JCTまでの16.9kmは、今年度末に開通予定となっている。

観光の活性化にも期待

茨木千提寺ICと箕面とどろみICが新設された沿線は、彩都や箕面森町などで大規模なまちづくりが進められ、人口は増加傾向にあるエリアだ。同時に、特産物の生産・販売地のアクセスが向上することで消費が拡大し、地域が活性化すると見込まれている。また茨木市彩都中部地区は物流拠点として整備が進められており、物流の円滑化や新たな雇用の創出など、様々な波及効果が期待されている。

このエリアはアウトドアスポットや寺社な



ど、自然に囲まれた観光地も数多い。交通アクセスが向上することで遠方からの集客がしやすくなり、新たなツアーツ旅行の誘致も可能となる。また、移動時間の短縮により、滞在地を追加したり観光地への滞在時間を延ばしてゆっくり旅行を楽しめるなど、観光客の満足度が増すことも見込み、観光の活性化にも期待が集まる。

今回開通する 主な区間の通行料金 (普通車)					
	大山崎 IC	京都南 IC	京都東 IC	茨木 IC	吹田 IC
高槻 IC	460	710	1,030	440	540
茨木 千提寺 IC	520	830	1,070	1,390	800
箕面 とどろみ IC	410	770	1,080	1,330	1,640
川西 IC	350	600	960	1,270	1,510
				1,830	1,240
				1,340	

箕面 世界子どもの本アカデミー賞 開催

箕面市内の小中学生が好きな文学作品を投票する「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」が開催された。読書をテーマとした活動を全国的に実施した2010年「国民読書年」をきっかけに創設し、今年で8回目。子どもが持っている本を、子ども自身が選ぶという、全国でも珍しい取り組みだ。

賞は、小学校1、2年生が選ぶ「絵本賞」、小学校3～6年生が選ぶ「作品賞」、「主演男優賞」、「主演女優賞」、そして中学生が選ぶ「ヤングアダルト賞」の5部門だ。市立図書館や市内に23校ある小中学校

の学校図書館司書らが、部門ごとに30冊のノミネート作品を選び、子どもたちが投票し選出する。11月3日には、子どもたちが運営する授賞式で受賞作家によるスピーチやサイン会などが行われた。後日、受賞作家等は市内の小中学校への訪問も予定している。

今年の授賞式には、絵本賞の小川仁央さん、作品賞の野田道子さん、ほか2名が出席。担当者は「授賞式に参加した子どもたちは、作者に会える貴重な機会に目をキラキラさせていた。これからも本に触れるきっかけを作り続けたい」と話している。

【絵本賞】

「だめよ、ディビッド!」



ディビッド・シャノン／作
小川仁央／訳
(評論社)

【作品賞】

「いのち運んだナゾの地下鉄」

野田道子／作
藤田ひおこ／絵
(毎日新聞社)
※現在品切れ



デビッド・シャノン／作
小川仁央／訳
(評論社)

【ヤングアダルト賞】

「君の臍臓をたべたい」



【ヤングアダルト賞】

「君の臍臓をたべたい」

住野る／著
(双葉文庫)

【主演男優賞】

「男子☆弁当部

オレらの友情
てんこもり弁当のソラ

イノウエミホコ／作
東野さとる／絵
(ポプラ社)



【主演女優賞】

「怪盗レッド①」の

アスカ

秋木真／作
しゅー／絵
(KADOKAWA)



五月山動物園によるこそ豪から3頭のウォンバット

丸

々として可愛い動作が人気のウォンバット。豪州などに生息する希少種だが、池田市と豪州ローンセントン市の姉妹都市50周年記念として贈られた。ウォンバットは日本に9頭しかいない。飼育下での寿命は20歳と言われているなか、同園のウォンバットは2頭が28歳、1頭が13歳と高齢で、繁殖が危惧されていた。今回新たに3頭が加



同市は3頭の愛称を公募。9日間で1,200件以上の応募があった。オスは「コウ」、メスは「マル」と「ユキ」。

わったことで早くも赤ちゃん誕生に期待が高まっている。

千里山駅周辺のまちづくり 優れた建設事業と評価され受賞

千

里山駅周辺において、吹田市と都市再生機構(UR)が市民と協働して総合的・一体的に行ったまちづくりが、一般社団法人全国建設技術協会が設ける「全建賞」の住宅部門を受賞した。「全建賞」は昭和28年度以来、毎年優れた建設事業を実施した機関に授与されている。平成28年度は322事業の応募のうち77事業が受賞、住宅部門



平成28年9月に行われたまちびらきイベント。

は当事業を含め3事業が受賞した。同事業は、老朽化が進んだ団地の建て替えと、総合的・一体的に駅前広場や都市計画道路などの駅周辺公共施設整備を行ったもので、市民・市・UR等の協働のまちづくり、交通混雑の解消や歩行者の安全確保などを達成したことが評価された。

自動車関連犯罪の被害に遭わないために

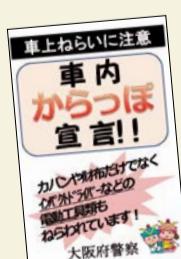
協力: 大阪府警察

平成29年9月までの車上ねらい認知件数は7,361件(平成29年10月4日付暫定値)で、日本で最も多い件数となっている。車上ねらいの被害の多くが駐車場で起き、カバンや財布だけでなく、インパクトドライバーなどの電動工具類の被害も発生している。

車の中にバッグなど物を置かないことが被害防止の最大のポイント。たとえ車の中に大切なものが入っていないなくても、犯人は金目のものが入っていると考えるので「車内をからっぽに」を心がけることが大切だ。また、防犯照明・防犯カメラ・出入口のチェーンなど、防犯設備の整った駐車場を選ぶことも重要となる。

「車内からっぽ宣言」運動とは

大阪府警察では、平成17年より車上ねらい防止対策として「車内からっぽ宣言」運動を展開。パトロール中の警察官が「車内からっぽ宣言カード」を車のフロントガラス付近に貼付し、車上ねらいの警戒を行っている。車から離れるときは、このカードを車内の目に付くところに掲示し、車内に物を置かないよう注意しよう。



【自動車関連の盗難被害】

ナンバープレート盗難

平成29年9月までの大阪のナンバープレート盗難は約2,400件。部品ねらい被害の約6割に。犯人は盗んだナンバープレートを盗難車両に取り付け、車上ねらいを繰り返しているそう。

【防止策】

ナンバープレートを盗まれ難くする盗難防止装置の取り付けを推奨している。

※一部車種によっては、ナンバープレートを取り外さないとオイル交換やメンテナンスができるものがあるので、販売店等で確認を。

